

## (社)日本自動車車体工業会より環境対応事例発表会のご案内

2010年 6月10日  
(社)日本自動車車体工業会  
環境委員会

車体工業会届出代表者経由  
各社関係各位

### 環境対応事例発表会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は当会活動に格別のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。  
さて、下記の通り環境事例発表会を計画いたしましたのでご案内いたします。  
なお、会場の都合上、定員は100名とさせていただきますので、出席ご希望の方はお早めに  
ご連絡をいただけますようお願いいたします。定員になり次第、締め切らせていただきます。

敬具

記

1. 日 時 2010年7月15日(木) 14:30~17:00  
\*理事会終了後となります。理事・監事の方には別途連絡済みです。

2. 場 所 日本自動車会館1階 くるまプラザ 東京都港区芝大門1-1-30

3. 発表テーマ (各テーマ発表20分、質疑応答5分を予定)

(1) 「特装車用塗装の鉛フリー化」

発表者: 新明和工業株式会社

生産技術統括本部 主任技師 福永 博臣 氏

概要: 従来は、黄色系塗料等において顔料として環境負荷物質である鉛成分を含有  
していた。塗装の鉛フリー化にあたり弊社で取組んだ内容を紹介

(2) 「環境負荷物質(SOC4)規制への取組み」

発表者: 日本フルハーフ株式会社 開発部管理グループ 小澤 正広 氏

概要: ①環境負荷物質削減に向けた分析対応のご紹介

②「J A B I A環境マークアイコン」の提案など

(3) 「すぐに役立つ省エネ活動の紹介」

発表者: 三菱ふそうバス製造㈱ 生産経営企画室工場技術課課長 庄司 忠 氏

概要: ①省エネ診断による省エネ方策出し

②省エネ診断の進め方

③省エネ改善事例の紹介

(4) 「当社の環境への取組みについて」

発表者: 日産車体株式会社 安全環境部 部長 褐田 仁 氏

概要: 日産車体九州(NS-K)の環境の取組みを含め、日産車体の環境の  
取組みを紹介

(5) 「世界に通用する試験所と環境負荷物質分析の実際」

講師: 財団法人 日本適合性認定協会 認定センター

プログラムマネージャー(化学試験) 松本年雄 氏

日本環境株式会社 ソリューション企画課 課長 山本太一 氏

概要: 環境負荷物質の分析結果が実際にどの様に利用され  
役に立っているかを紹介

4. 参加費 無料

5. 申込み方法・締め切り

別紙出席申込用紙によるFAX 03-3578-1684

またはe-mail: [kawachi@jibia.or.jp](mailto:kawachi@jibia.or.jp) でご連絡下さい。

締め切り: 7月2日(金)

6. 問い合わせ先 (社)日本自動車車体工業会 総務部 TEL 03-3578-1681

以上

## 環境対応事例発表会出席申込書

2010年7月15（木）14：30～17：00  
日本自動車会館1階 くるまプラザ

FAX 03-3578-1684 総務部 河内 行  
または e-mail : [kawachi@jibia.or.jp](mailto:kawachi@jibia.or.jp)

- ・7月15日（木）環境対応事例発表会に出席します。

会社名		
氏名		役職
		役職
		役職
		役職
TEL		
FAX		